

「地域の感染レベル」の変更について

各地に甚大な被害をもたらし、長く続いた今年の梅雨もようやく明けて、暑い夏が戻ってきました。子ども達は、梅雨明けを待ちわびたかのように、休み時間になると、一斉に運動場やけやき広場に飛び出していき、元気に遊んでいます。

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月10日付けで愛知県教育委員会から、『新しい生活様式』を踏まえた学校の行動基準における地域感染レベルについて、現時点では『レベル1』（＝感染リスクの高い活動については、適切な感染対策を行った上で実施）である」との判断が示され、少しずつ、平常の学校生活に戻すようにしてまいりました。しかし、7月28日付けで、再び「地域の感染レベル」を『レベル2』へ変更する」という通知がありました。

これを受けまして、学校では、「感染リスクの高い教科活動」「特に感染リスクの高い教科活動」は、当面の間、行わないこととなりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

※ 「感染リスクの高い教科活動」

- ・ 児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等
- ・ 理科における「児童同士が近距離で活動する実験、観察」
- ・ 図画工作科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」

※ 「特に感染リスクの高い教科活動」

- ・ 音楽科における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- ・ 家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」
- ・ 近距離で一斉に大きな声で話す活動
- ・ 体育科における「児童が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

学校では、今までどおりマスクの着用（体育や登下校中は熱中症対策のために除く）、活動前後の手洗いの徹底、適切な換気等の感染症防止対策を講じた上で、「できる限り一人一人の間隔を空け、人がいる方向に口が向かない」「屋内で実施するときには特に呼気が激しくなるような運動は避ける」等の工夫や指導をしながら、一層注意を払って学習を進めていきます。

ご家庭におかれましても、お子様の感染防止のため、人混みや感染拡大地域への移動の自粛、適度な運動や栄養補給による免疫力の向上等にもご配慮いただくことをお願い申し上げます。また、もしも家族に感染者や濃厚接触者が出てしまったときは、すぐに学校にご連絡をお願いいたします。

令和2年8月3日

稲沢北小学校長 久野 彰